

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成18年 8月24日	
		作成部署	乙訓土木事務所	
事業名	都市計画道路 御陵山崎線 街路事業	構想番号	(土・道計) 構-18-2	
		地区名	長岡京市開田～神足地内	
概算事業費	70 億円	事業期間	平成9年度～平成22年度	
事業概要	L=543m W=13.0(22.0)m			
関連する公共事業	JR長岡京駅西口地区市街地再開発事業			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・現道は市街地中心部の幹線道路で、交差点等で渋滞が慢性化していることから、これらの緩和により自動車のCO ₂ をできるだけ削減させる必要がある。	・道路拡幅と併せて、右折レーンを設置した交差点として整備することで、交通を円滑化し、CO ₂ の総排出量を削減させる。	△
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・現道の周辺は住宅などが多く、騒音・排気ガス等による沿線の環境改善を図る必要がある。 ・計画路線は人家連坦地を通過するため、騒音・振動等沿線に与える影響を抑制する必要がある。	・交通の集中による慢性的な渋滞を緩和し、交通を円滑にすることで、排気ガス排出量を総量として削減する。 ・高機能舗装の使用により、沿線に与える騒音等の影響を抑制する。 また、水循環に配慮して、歩道には透水性舗装を実施する。	△
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・JR長岡京駅や阪急長岡天神駅に近接する市の玄関口となる地域で、商業地や住宅地として利用されているため、景観や環境に配慮した舗装や照明、植樹などを行う必要がある。	・良好な都市景観を維持するため、歩道舗装にあたっては周辺の色になじむようその色や構造に配慮する。 ・地域住民のボランティアが主体となって、沿道の植樹の計画や維持・管理を実施する予定である。	○
地域の環境像	計画路線周辺には、JR長岡京駅や阪急長岡天神駅があり、広域拠点としての機能があるだけでなく、小学校が存在し、周辺には住宅などが多いため、地域住民と共同した取り組みにより、良好な生活環境と都市景観の確保が必要である。			
特記事項	なし			